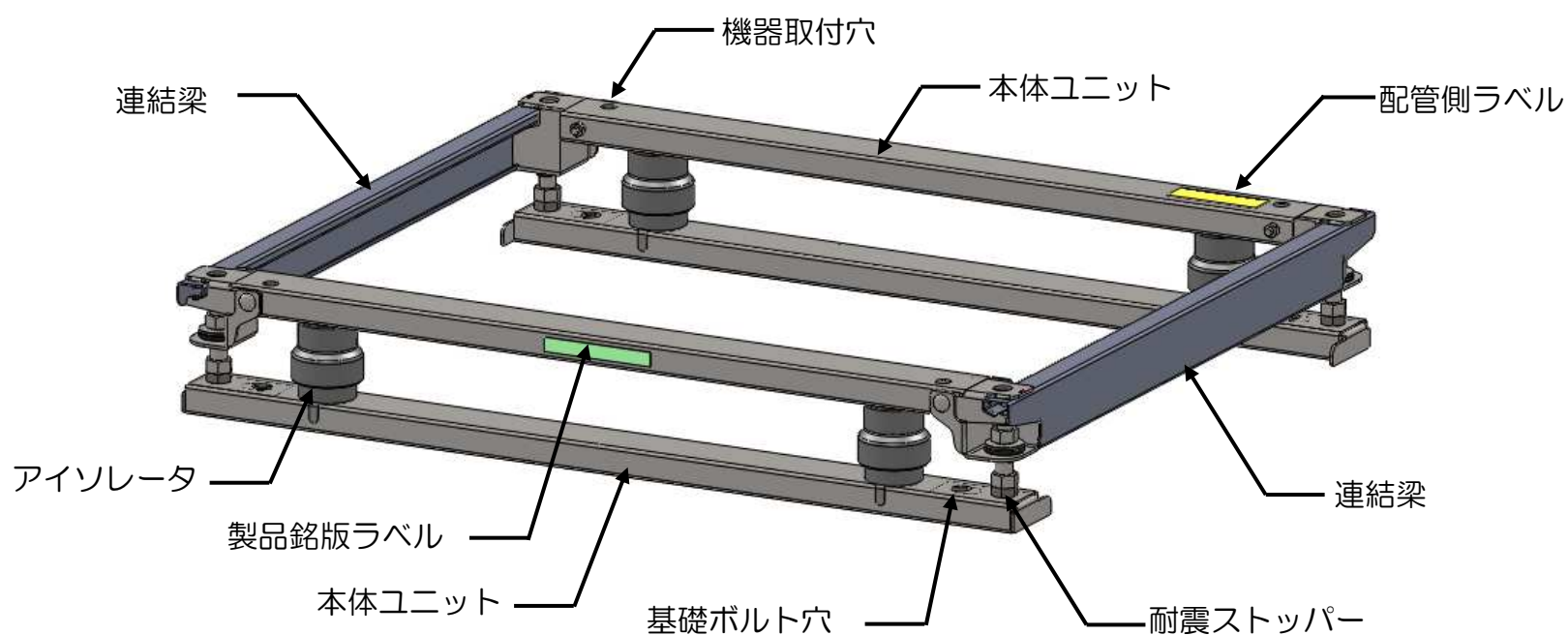


ヤブシタ MO(A)BM シリーズ エアコン用防振台 取扱説明書

この度は弊社防振台をご採用いただきましてありがとうございます。
据付工事を行う前に必ずご一読頂き、十分ご理解のうえ正しく施工を行ってくださるようお願い致します。

注意 (これらの事項を守らないと、ケガをする恐れがあります。また、十分な性能を発揮できなくなります！)

- ◎ 以下の内容をご一読のうえ、空調機器本体の据付作業を行なってください。
- ◎ 本体ユニット及び連結梁の上には乗らないようにしてください！
- ◎ 防振台扱いについて、連結梁を掴んでの持ち上げ・移動は行なわないでください！必ず前後の本体ユニット部を両手で掴んでの持ち上げ・移動作業を行ってください。
- ◎ 鋼材端面にて、指等を裂傷しないよう十分ご注意ください。

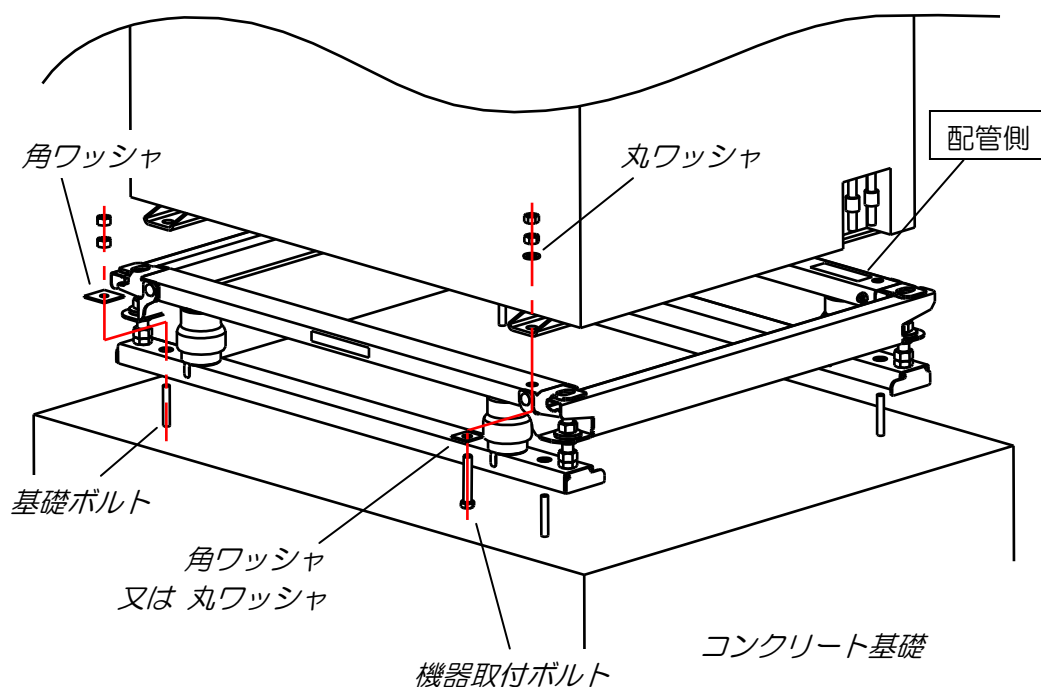


- 開梱時に製品銘板ラベル中の品番がご注文の品と一致しているかご確認ください。
- 付属品をご確認ください

① 本体	: 1セット
② 機器取付ボルトナットセット	: 一式
③ 基礎ボルト用角座金	: 4個
- 基礎ボルトは付属しておりません。お客様にてご用意ください。

防振台及び機器の据付

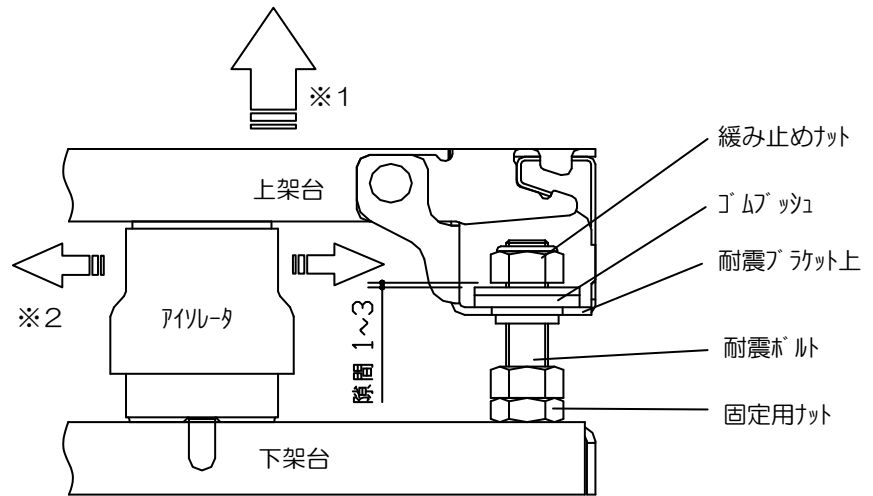
- ↓ 機器と防振台の取付け方向を確認したうえで防振台を基礎上に設置し、防振台ベースを基礎ボルトで仮止めしてください。(機器の冷媒配管位置と防振台架台上の配管側ラベルとの位置に注意)
- ↓ このとき基礎及び防振台の水平をご確認ください。基礎面に凹凸がある場合や水平でない場合は、モルタルで補修するかライナーにて補正してください。
- ↓ 防振台ベースを基礎ボルトにて強固に固定してください。
- ↓ 配管側を確認しながら機器を搭載し、付属の機器取付けボルトにて仮締めしてください
- ↓ 機器と架台を機器取付けボルトにて強固に固定してください。



防振台レベル確認と調整作業

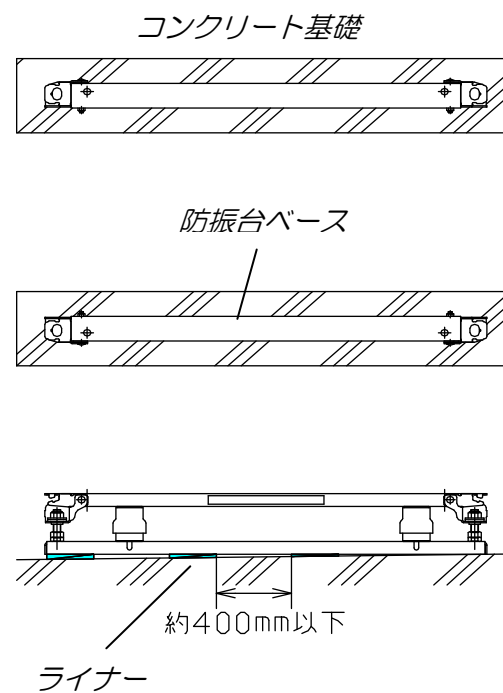
架台四隅のレベル差が5mm以上ある場合には、調整が必要となります！

- ① 緩み止めナットを十分に緩めて機器及び架台の水平を確認してください。
傾いている場合は架台をジャッキアップし※1、架台が低くなっていた側にアイソレータを移動させて水平となるように調整してください。このときばねケース上を手でつかみ下へ押し下げ、ケース本体を多少傾けながら移動させると、比較的楽に作業が行えます。※2連結梁には絶対ジャッキをかけないで下さい。破損の原因となります！！
- ② 架台の水平が確認出来ましたら、緩み止めナットを締め付けながらゴムブッシュを介してナットと耐震ブラケット上とがお互いに接触しない程度に位置を調節してください。



— 基礎施工上の注意事項 —

- 基礎はレベルの出た全面基礎とし、ベースと密着するように平滑に施工してください。
- やむを得ずはり形基礎となる場合は、ベース部を出来るだけ支持する形状とするか（右図参照）H鋼等の剛性が高く歪みの出ないものの上に設置してください。
- 基礎据付面に凹凸がある場合や傾斜が付いている場合は、モルタルにて補修するか、防振台ベースとの間にライナー等を挿入して補正してください。（ライナー間隔は400mm以下）
- 基礎ボルトは耐震基準に準じて埋設してください。

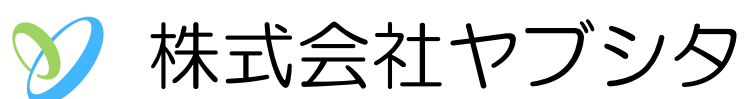


— 配管やダクトとの接続時注意事項 —

- ダクトを接続する場合、キャンバスダクト等を介して接続してください。
- 配管の接続は、Z曲げやループ配管等にて振動を吸収する施工をしてください。
- 配管やダクトなどの重量は防振台設計には含まれておりません。また防振台に無理な力が加わらないように十分サポートしてください。
- 溶接作業などの火花が当たらないように対策して作業してください。

ご注意

- ※ 廃棄する場合は本体ゴム部：産業廃棄物、その他：リサイクル鉄材又はリサイクル樹脂材としてください。
- ※ 作業時の安全確保には十分な配慮をお願い致します。
- ※ 予告無く本体の構造等を一部変更することがあります。



URL <http://www.yabushita-kikai.co.jp>

本社・札幌 函館営業所
TEL (011) 624-0021 (代)
TEL (0138) 26-3851 (代)

札幌工場 東京営業所
TEL (011) 391-8488 (代)
TEL (03) 6891-0480 (代)